

取引市場：シンガポール

リサーチ部長 庵原 浩樹
DID:03-3666-6980 (内線244)
E-mail: hiroki.ihara@phillip.co.jp

フィリップ証券株式会社

2014年2月17日

DBSグループ・ホールディングス (DBS SP)

業種：金融



シンガポールの金融サービス大手

▶ 1968年設立され、アジア最大の金融機関の一つ。東南アジアで資産最大クラスの銀行で、格付けは“AA-”(※フィッチ)、“Aa2”(※ムーディーズ)である。5年連続(09-13)で“アジア安全な銀行”との評価もある。

▶ 世界中の50都市において250支店を展開、ATM1,100台以上。シンガポールと香港において、それぞれ400百万人と100万人以上の顧客を抱える。消費者に多岐にわたる金融サービスを提供し、アジアや中東などの中小企業及び法人向けにもサービスを提供している。

▶ 主に顧客向けのリテール銀行として、シンガポールと香港を中心に事業を展開し、一般銀行業務、資金調達、資産運用などにおいて優位性を確保している。

※この格付けについて信用格付付与者である「ムーディーズ」及び「フィッチ」は金融商品取引法第66条の27の登録をうけておりません。無登録格付に関する留意点につきましては、第5、6ページを参照してください。

株価(SGD) 16.48 (2014/2/14)

52週安値-高値(SGD) 14.91-17.90

財務状況・業績

※参考レート1SGD=80.84円(2014/2/14終値時点)

業績推移

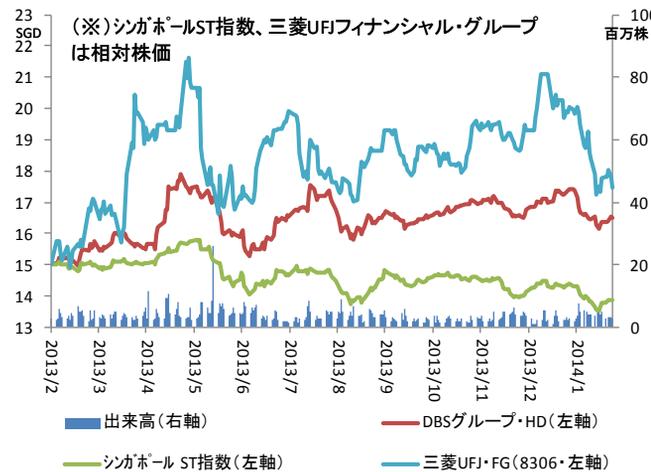
事業年度	2012/12	2013/12	2014/12E	2015/12E
経常収益(百万SGD)	8,064	8,927	-	-
当期純利益(百万SGD)	3,359	3,501	3,889	4,269
EPS(SGD)	1.56	1.48	1.57	1.72
PER(倍)	10.56	11.14	10.50	9.58
BPS(SGD)	12.86	13.51	14.73	15.75
PBR(倍)	1.28	1.22	1.12	1.05
配当(SGD)	0.28	0.28	0.61	0.65
配当利回り(%)	1.70	1.70	3.70	3.94

	2012/4Q	2013/4Q	前年同期比
経常収益(百万SGD)	1,959	2,151	9.8%
税前利益(百万SGD)	923	983	6.5%
当期純利益(百万SGD)	760	802	5.5%
EPS(SGD)	1.41	1.35	-4.3%

(出所：会社公表資料、Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

※SGDはシンガポールドル、※Eはブルームバーグ市場予想

【52週株価チャート(日足)】



◆ 2013/12期4Q(10-12月)業績ハイライト

▶ 4Qの収益は順調に成長した。金利収益は前年同期比12.5%増の1,454百万SGDで、非金利収益は同4.7%増の697百万SGD。受入手数料はウェルス・マネジメント、投資銀行、貿易、取引サービス、カード業務などの寄与で同18.0%増の439百万SGDとなった。同社の2013年業績は各四半期を通して安定的に成長し、2013年通期の収益は前年比10.7%増の8,927百万SGD、純利益は同4.2%増の3,501百万SGDとそれぞれ過去最高を更新した。

▶ 4Qの部門別経常収益は、トレジャリーが前年同期比31.3%減、その他も同8.6%減少したが、主力の機関投資家向けが21.4%増と最も高い伸びとなり、個人向け/ウェルス・マネジメントも同16.9%増となった。

※トレジャリー：企業、機関等家、個人投資家、金融機関などに向け、為替、金利、クレジット、債券、株式、デリバティブなどの商品を提供、管理するサービス。

▶ 同社は、3年連続(2011-2013年)で健全な財務を維持している。不良債権比率(NPL Ratio)は2010年の1.9%が2011年に1.3%に大幅に下がり、2012年1-3Qは1.2%、4Qは1.1%と低い水準を保つ。2013年の預金残高は前年比15.3%増の292百万SGDだった。

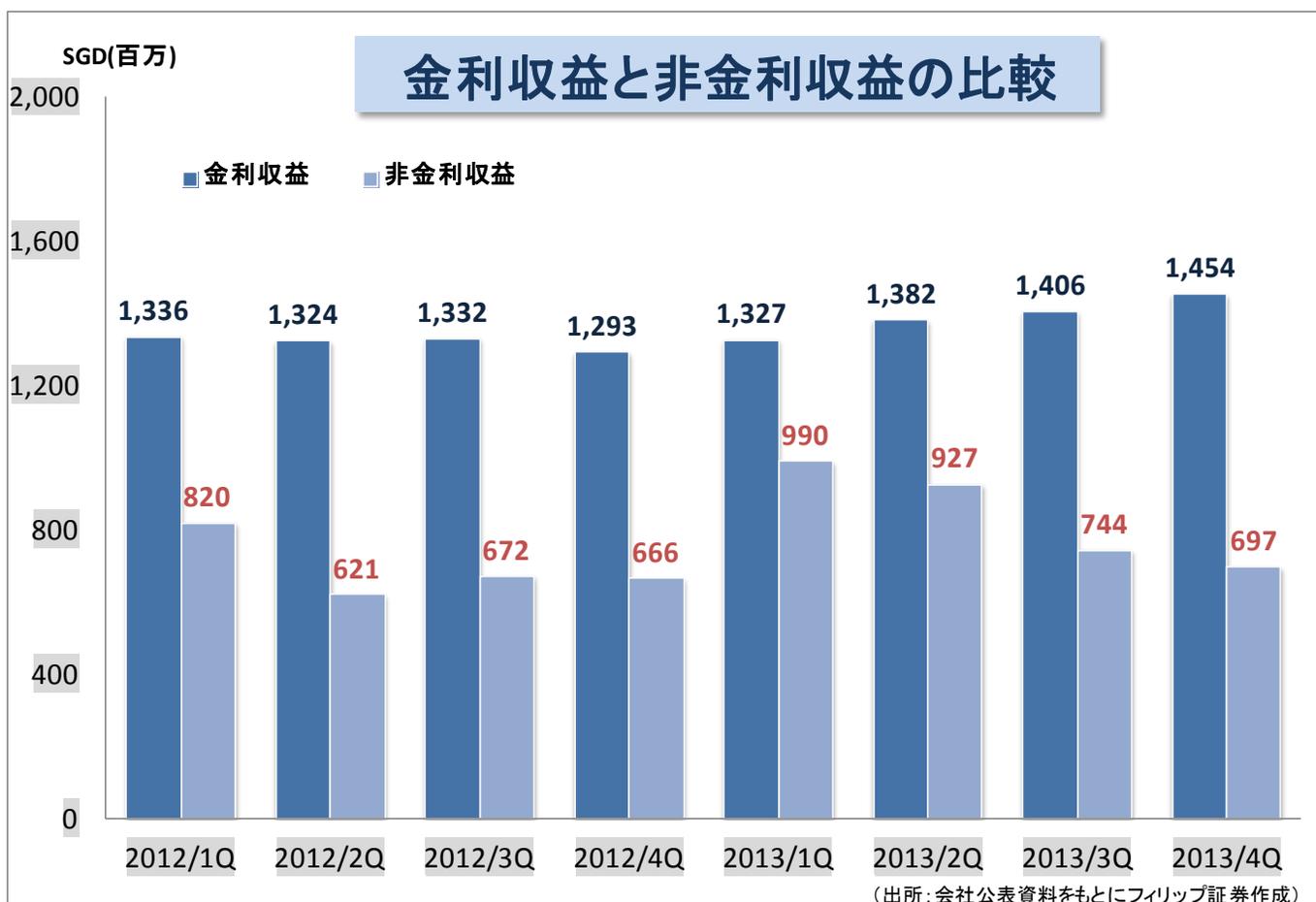
2014年2月17日

(図表1)

部門/決算期	部門別経常収益(百万SGD)								4Q13	4Q13			2013
	1Q12	2Q12	3Q12	4Q12	1Q13	2Q13	3Q13	4Q13	vs	vs	2,012	2,013	vs
個人向け/ ウェルス・マネジメント	603	566	569	562	622	623	636	657	16.9%	3.3%	2,300	2,538	10%
機関投資家	1,058	1,075	1,075	944	1,202	1,182	1,146	1,146	21.4%	0.0%	4,152	4,676	13%
トレジャー	406	198	224	291	323	286	225	200	-31.3%	-11.1%	1,119	1,034	-8%
その他	89	106	136	162	170	218	143	148	-8.6%	3.5%	493	679	38%
トータル	2,156	1,945	2,004	1,959	2,317	2,309	2,150	2,151	9.8%	0.05%	8,064	8,927	11%

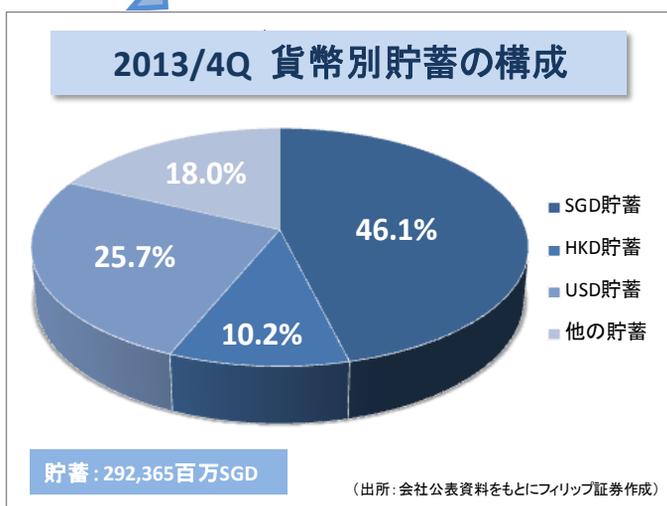
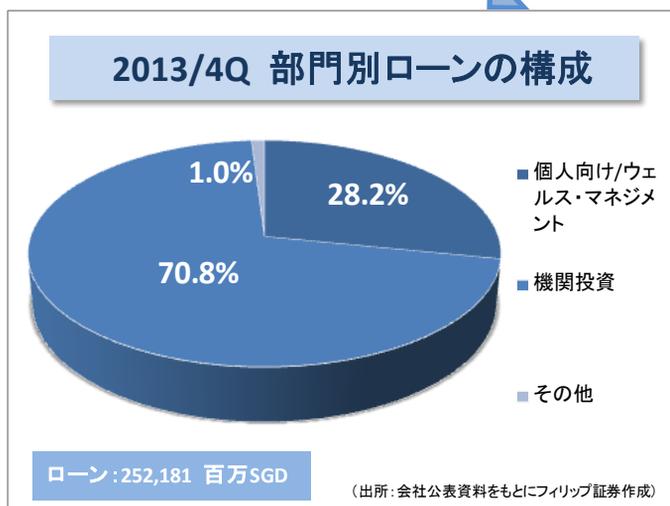
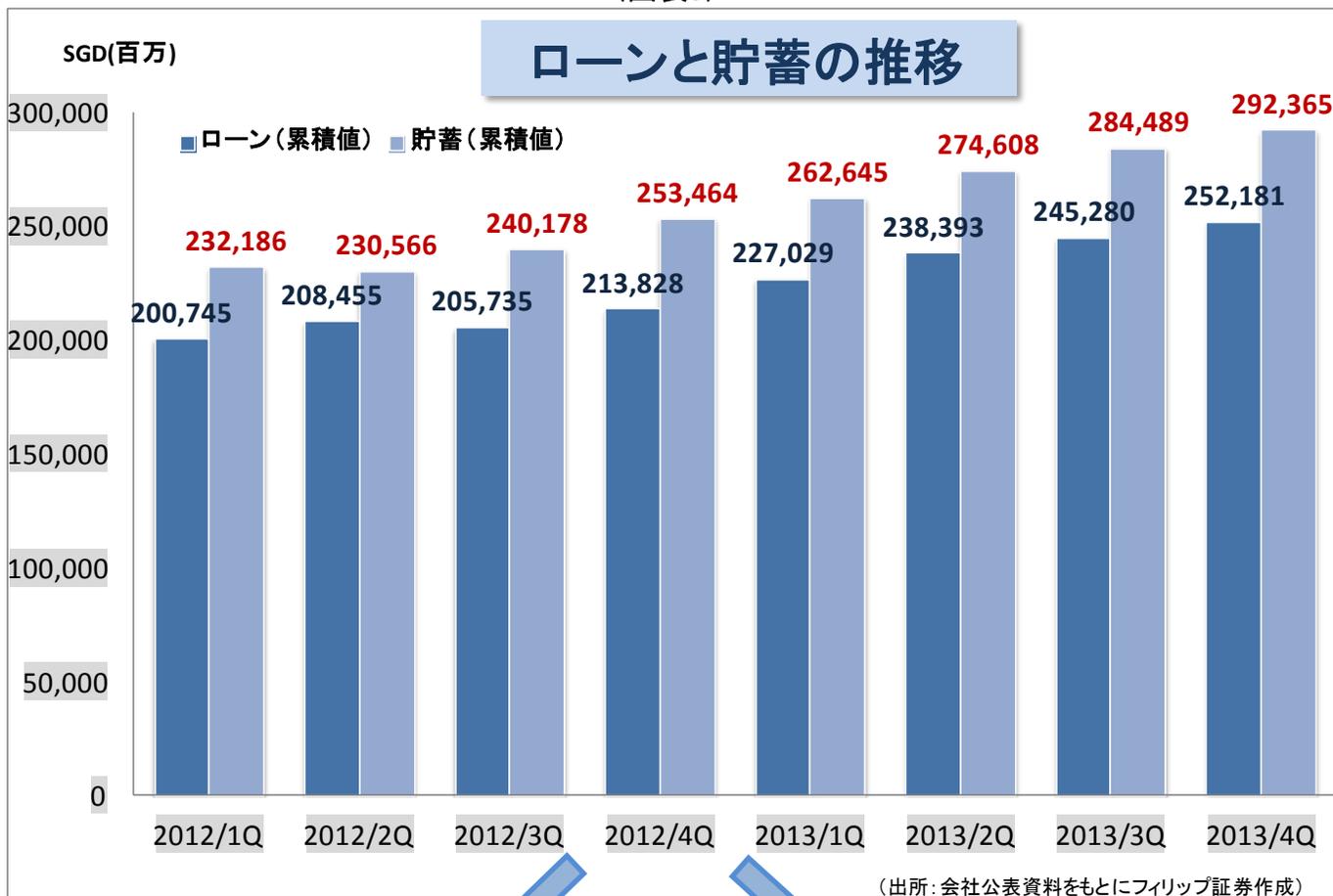
(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

(図表2)



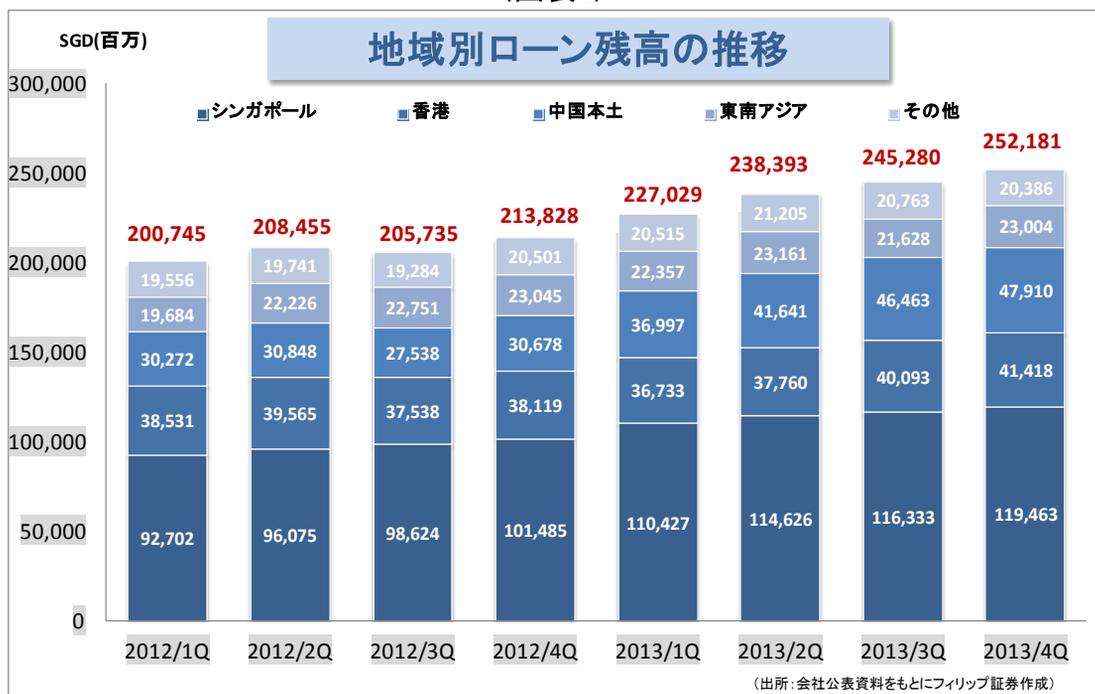
2014年2月17日

(図表3)



2014年2月17日

(図表4)



(図表5)



2014年2月17日

無登録格付に関する説明書 (フィッチ・レーティングス用)

格付会社に対しては、市場の公正性・透明性の確保の観点から、金融商品取引法に基づく信用格付業者の登録制が導入されております。

これに伴い、金融商品取引業者等は、無登録格付業者が付与した格付を利用して勧誘を行う場合には、金融商品取引法により、無登録格付である旨及び登録の意義等を顧客に告げなければならないこととされております。

○登録の意義について

登録を受けた信用格付業者は、①誠実義務、②利益相反防止・格付プロセスの公正性確保等の業務管理体制の整備義務、③格付対象の証券を保有している場合の格付付与の禁止、④格付方針等の作成及び公表・説明書類の公衆縦覧等の情報開示義務等の規制を受けるとともに、報告徴求・立入検査、業務改善命令等の金融庁の監督を受けることとなりますが、無登録格付業者は、これらの規制・監督を受けておりません。

○格付会社グループの呼称等について

格付会社グループの呼称: フィッチ・レーティングス(以下「フィッチ」と称します。)

グループ内の信用格付業者の名称及び登録番号: フィッチ・レーティングス・ジャパン株式会社
(金融庁長官(格付)第7号)

○信用格付を付与するために用いる方針及び方法の概要に関する情報の入手方法について

フィッチ・レーティングス・ジャパン株式会社のホームページ(<http://www.fitchratings.co.jp>)の「規制関連」セクションにある「格付方針等の概要」に掲載されております。

○信用格付の前提、意義及び限界について

フィッチの格付は、所定の格付基準・手法に基づく意見です。格付はそれ自体が事実を表すものではなく、正確又は不正確であると表現し得ません。信用格付は、信用リスク以外のリスクを直接の対象とはせず、格付対象証券の市場価格の妥当性又は市場流動性について意見を述べるものではありません。格付はリスクの相対的評価であるため、同一カテゴリーの格付が付与されたとしても、リスクの微妙な差異は必ずしも十分に反映されない場合もあります。信用格付はデフォルトする蓋然性の相対的序列に関する意見であり、特定のデフォルト確率を予測する指標ではありません。

フィッチは、格付の付与・維持において、発行体等信頼に足ると判断する情報源から入手する事実情報に依拠しており、所定の格付方法に則り、かかる情報に関する調査及び当該証券について又は当該法域において利用できる場合は独立した情報源による検証を、合理的な範囲で行いますが、格付に関して依拠する全情報又はその使用結果に対する正確性、完全性、適時性が保証されるものではありません。ある情報が虚偽又は不当表示を含むことが判明した場合、当該情報に関連した格付は適切でない場合があります。また、格付は、現時点の事実の検証にもかかわらず、格付付与又は据置時に予想されない将来の事象や状況に影響されることがあります。

信用格付の前提、意義及び限界の詳細にわたる説明については、フィッチの日本語ウェブサイト上の「格付及びその他の形態の意見に関する定義」をご参照ください。

この情報は、平成26年2月17日に信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を当社が保証するものではありません。詳しくは上記フィッチのホームページをご覧ください。

以 上

2014年2月17日

無登録格付に関する説明書 (スタンダード&プアーズ・レーティングズ・サービス用)

格付会社に対しては、市場の公正性・透明性の確保の観点から、金融商品取引法に基づく信用格付業者の登録制が導入されております。

これに伴い、金融商品取引業者等は、無登録格付業者が付与した格付を利用して勧誘を行う場合には、金融商品取引法により、無登録格付である旨及び登録の意義等を顧客に告げなければならないこととされております。

○登録の意義について

登録を受けた信用格付業者は、①誠実義務、②利益相反防止・格付プロセスの公正性確保等の業務管理体制の整備義務、③格付対象の証券を保有している場合の格付付与の禁止、④格付方針等の作成及び公表・説明書類の公衆縦覧等の情報開示義務等の規制を受けるとともに、報告徴求・立入検査、業務改善命令等の金融庁の監督を受けることとなりますが、無登録格付業者は、これらの規制・監督を受けておりません。

○格付会社グループの呼称等について

格付会社グループの呼称：スタンダード&プアーズ・レーティングズ・サービス(以下「S&P」と称します。)
グループ内の信用格付業者の名称及び登録番号：スタンダード&プアーズ・レーティング・ジャパン株式会社
(金融庁長官(格付)第5番)

○信用格付を付与するために用いる方針及び方法の概要に関する情報の入手方法について

スタンダード&プアーズ・レーティング・ジャパン株式会社のホームページ(<http://www.standardandpoors.co.jp>)の「ライブラリ・規制関連」の「無登録格付け情報」(<http://www.standardandpoors.co.jp/unregistered>)に掲載されております。

○信用格付の前提、意義及び限界について

スタンダード&プアーズ・レーティングズ・サービス(以下「レーティングズ・サービス」)の信用格付は、発行体または特定の債務の将来の信用力に関する現時点における意見であり、発行体または特定の債務が債務不履行に陥る確率を示した指標ではなく、信用力を保証するものでもありません。また、信用格付は、証券の購入、売却または保有を推奨するものでなく、債務の市場流動性や流通市場での価格を示すものでもありません。

信用格付は、業績や外部環境の変化、裏付け資産のパフォーマンスやカウンターパーティの信用力変化など、さまざまな要因により変動する可能性があります。

レーティングズ・サービスは、信頼しうると判断した情報源から提供された情報を利用して格付分析を行っており、格付意見に達することができるだけの十分な品質および量の情報が備わっていると考えられる場合にのみ信用格付を付与します。しかしながら、レーティングズ・サービスは、発行体やその他の第三者から提供された情報について、監査・デュー・デリジュエンスまたは独自の検証を行っておらず、また、格付付与に利用した情報や、かかる情報の利用により得られた結果の正確性、完全性、適時性を保証するものではありません。さらに、信用格付によっては、利用可能なヒストリカルデータが限定的であることに起因する潜在的なリスクが存在する場合もあることに留意する必要があります。

この情報は、平成26年2月17日に信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を当社が保証するものではありません。詳しくは上記スタンダード&プアーズ・レーティング・ジャパン株式会社のホームページをご覧ください。

以上

2014年2月17日

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元：フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者：社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。フィリップ証券は当資料を使用している記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規 平14.1.25」に基づく告知事項>
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。